

ふるさと 便り 12月

南伊勢ブランド認定書授与式

10月27日、南伊勢ブランドの認定書授与式が行われ、今回新たに1品目の商品が南伊勢ブランドに認定されました。

「南伊勢ブランド」は南伊勢町の豊富な資源を活用した優れた商品をブランド化し、その情報を発信することで、地域経済の活性化につなげています。

今回は三重外湾漁協の「みなみ伊勢かき プルみえ」が南伊勢ブランドとして認定されました。「みなみ伊勢かき プルみえ」は、通常と異なる養殖方法を用いて付加価値を高めたマガキで、五ヶ所湾で養殖をしています。

一般的にカキは密集しているため、細長い形に成長しますが、「みなみ伊勢かき プルみえ」は密集させずに一粒に分離して養殖する、シングルシードマガキと呼ばれるもので、丸い形へ成長し、小粒ながらも身が大きく、濃厚な味わいとともプルプルとした食感が楽しめます。

かきの出荷時期は3月から4月頃で、出荷予定は約1万5千個と生産数が限られています。販売は電話のみによる受付となっています。

※漁協連絡先 0596-72-2244



宿田曾 神祭・港まつり

11月11日、宿田曾地区で、第61回神祭・港まつりが開催され、大漁を祈願し、保育園神輿を含めた5基の神輿が区内を練り歩きました。港まつりは八柱神社で毎年行われる秋の大祭である神祭を盛り上げようと始められたもので、祭前夜の宵宮祭は、灯籠を全体にあしらった車の後ろを灯籠を持った住民が続く提灯行列、神社への参拝、住民による踊りが行われ、また、今年は、皇学館大学の雅楽部による雅楽の演奏と舞も披露され、その迫力に例年と違った前夜を住民が楽しんでいました。本祭の当日は主会場となる広場でなぶら太鼓の演奏や、保育園児による南勢ソーラン節と神輿担ぎが行われ、小中学生が担ぐタイ神輿を先頭に、女性が担ぐカジキ神輿、男性が担ぐ船神輿とカツオ神輿が後に続き、威勢のいいかけ声を響かせながら宿田曾地区を練り歩きました。

集落の広場を目指し波間に揺れる魚影を思わせる神輿の列は、港町らしい雰囲気醸し出していました。広場では船神輿とカツオ神輿が、大洋で漁をする姿を彷彿させる豪快な練りを繰り広げ、祭の盛り上がり最高潮を迎えました。住民が見守る中、地元の子もたちによる舞姫の厳かに舞う姿を披露し大漁を祈願。最後は宿田曾音頭、南勢ソーランなどを踊り、住民が一体となって秋の風物詩を楽しんでいました。



マスコットキャラクター
『たいみー』

毎月、ふるさとの出来事を
楽しくお伝えしていきます!

南伊勢町役場 行政経営課
政策係 電話 0599-66-1366